

実用英語教育学会第8回研究大会のご案内

ビジョン3-16：2020年東京オリンピックと日本の英語教育
—これから地方でしたいこと・できること—

東京五輪まであと2年足らずとなりました。北海道でいま起きていること、これから北海道でできることについて学び、考え、できることがあれば実践していきたいものですね。基調報告で他の地域での実践についての情報なども得ながら、全道各地で英語を子どもたちの日常生活の中に定着させようと日々奮闘しておられる先生方が、来る東京五輪をこれからの日々の教育現場で最大限に生かしていくための指針やインスピレーションを得る機会となれば幸いです。

- 日時： 2019年2月23日（土） 受付：12：30～
研究会 午後1:35～5:00
茶話会 午後5:00～5:30（研究会会場にて※）
- 場所： 札幌大谷大学 中央棟3階講義室4
札幌市東区北16条東9丁目1-1（東豊線「東区役所前」徒歩7分）
- 参加費： SPELT会員 無料（非会員は研究会参加費500円、※茶話会参加費は無料）
- 申込み： 配布資料・茶話会準備の都合上、必ず[ウェブ上の参加申込みサイト](#)からの事前申込みをお願いいたします。

大会プログラム（敬称略）

- 12:30～ 受付
- 13:00～13:30 開会 司会：三浦寛子（北海道科学大学）
会長挨拶：釣晴彦（札幌学院大学）
総会（研究会・研究大会の日程の設定、テーマを中心に）
- 13:35～14:55 基調講演 **萬谷 隆一**（北海道教育大学札幌校）
「小学校英語の今、そしてこれから」（70分講演、10分質疑応答）
- 15:00～15:30 招待発表 小野 真嗣（室蘭工業大学）（25分発表、5分質疑応答）
「地方大学における留学生の人的リソース共有化による異文化交流実践」
- 15:35～16:05 実践報告 久野 寛之（札幌大谷大学）（25分発表、5分質疑応答）
「『おもてなしを儲けにつなげる英語教室』—地域活性化のための成人向け英語教室を成功に導くマーケティングの観点」
- 16:05～16:15 休憩
- 16:15～17:00 実用英語教育フォーラム
「2020年東京オリンピックと日本の英語教育—これから地方でしたいこと・できること—」
司会・進行：釣晴彦（札幌学院大学）
パネリスト：萬谷隆一、小野真嗣、山崎秀樹、久野寛之
- 17:00 閉会、杉浦副会長（東海大学）挨拶
- 17:00～17:30 茶話会 参加無料
- 18:00 懇親会 大学近辺の別会場・詳細は当日会場

基調講演概要：

小学校英語の現状と、そして課題となっている点を理解頂き、小学校英語が、中学校以上の英語教育にもたらす変化について参加者の方々と考えたいと思います。

講演者プロフィール【萬谷隆一 氏】

北海道苫小牧市生まれ。広島大学大学院修了。

昭和 57 年 4 月 兵庫教育大学（学校教育学部）

昭和 61 年 4 月 北海道教育大学（函館校）

平成 12 年 8 月-13 年 4 月 ハワイ大学客員研究員

平成 18 年 4 月 北海道教育大学教授（札幌校）

現在に至る。

北海道英語教育学会会長を経て、現在は、北海道 Super Global High School 事業運営委員長及び小学校英語教育学会会長。

趣味：アコースティック・ギター演奏・作曲。

発表

招待発表

発表者： **小野真嗣**（^{まさつぐ}室蘭工業大学大学院工学研究科ひと文化系領域准教授・国際交流センター准教授）

発表題： 「地方大学における留学生の人的リソース共有化による異文化交流実践」

概要： 現在、政府主導で留学生受入れ 30 万人計画が進行しており、2020 年までの達成を目指して各機関で受入れ増強に努めている。2020 年は東京五輪の年であり、世界中からの外国人の来日が予想され、日本国民の語学力向上や異文化理解の涵養に向けた施策が官民様々なレベルで行われている。しかしながら、その恩恵を苦勞なく享受できる地域は大都市に限られ、地方都市では、一般・留学生を問わず、外国人との遭遇機会は日常生活においてそれほど多くはないのが現状である。本発表では、地方大学機関の連携による異文化交流の実践例についてご紹介させて頂き、教員個々が持つ様々な能力の活用についても触れながら、話を進めることとしたい。

実践報告

発表者： **久野 寛之**（^{くの}札幌大谷大学社会学部地域社会学科教授）

発表題： 「おもてなしを儲けにつなげる英語教室」— 地域活性化のための成人向け英語教室を成功に導くマーケティングの観点

概要： 北海道の中都市における中心市街地活性化の試みとして、全 4 回各回 90 分のシリーズで行われた商店街経営者、従業員向け英語教室について報告する。インバウンド観光客への「おもてなし」のための英語表現を学ぶことが主要な目標だったが、教える項目を選ぶにあたっては、「儲けに直結する英語表現」に絞った。参加者の習熟度レベルを一定に保てない成人向け英語教室でも、目的をマーケティング・ニーズに絞り込み、学習項目を精選すれば満足度を高められる。不十分なものではあるが、実際に使ったプリント教科書を手に取って見ていただきながら、地域の商業活動を支援する英語教育を実施する上でマーケティングの観点がいかに重要かつ有用であるかを報告する。

实用英語教育フォーラム

「2020年東京オリンピックと日本の英語教育—これから地方でしたいこと・できること—」

司会・進行： 釣 晴彦（札幌学院大学）

パネリスト： 萬谷 隆一、小野 真嗣、山崎 秀樹、久野 寛之

フォーラムのねらい：

オリンピックは1都8県で行われます。北海道は、札幌ドームでサッカーの競技場を提供することになります。オリンピックに先立って、今年の9月にはラグビーワールドカップが札幌ドームで行われます。So what?（だから何？）ですね。結局のところ、東京オリンピック、パラリンピックというのは、サッカーの試合の開催地となる札幌の人たちには関係するかもしれないけれど、北海道のその他の地域にとっては、大して関係のないもので終わってしまうのでしょうか。それとも、関係のあることにしなくてはいけないのでしょうか。現在の全国の状況を参考にしつつ、2002年のサッカーワールドカップや2017年アジア冬季競技大会のことを思い出しながら、こうした国際イベントと子どもたちの英語学習や英語教育との接点はどこにあるのか、どこにあるべきなのか、小中高大の教育者が一緒になって考えてみると、何か見えてくることがあるのではないのでしょうか。それが第8回实用英語教育フォーラムのねらいです。

参加のお申し込み⇒ [申込専用フォーム](#)から今すぐ申込み

なお、お問合せはこちらまで⇒info@spelt.main.jp

会場までのアクセス

会場には駐車場の用意がございません。公共交通機関をご利用ください。

●札幌市営地下鉄 東豊線

東豊線「東区役所前」駅下車 2・3番出口から徒歩7分

東豊線「環状通東」駅下車 1番出口から徒歩7分

●中央バス

東17北光線「大谷学園前」下車 徒歩5分

東19北光・北口線「大谷学園前」下車 徒歩5分

会場付近の詳細は、札幌大谷大学HPをご覧ください。

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/access/>

お問い合わせは info@spelt.main.jp まで。

大会事務局

实用英語教育学会（SPELT）事務局

〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷大学社会学部地域社会学科 石川希美 研究室内

TEL: 011-742-1651（代）

FAX: 011-742-1654（※社会学部石川希美宛てと明記してください）

E-mail: info@spelt.main.jp（事務局担当者共有アドレス）